

## 平成年25年度 第1回鎌ヶ谷市文化財審議会会議録

開催日時 平成25年5月24日（金）午後3時30分～

開催場所 本庁舎6階 第4委員会室

出席者 (1) 委員：下津谷委員長、新山副委員長、小川委員、佐藤委員、石神委員

(2) 事務局：山崎生涯学習部長、山口文化・スポーツ課長、犬塚主幹、  
後野主査捕、松丸主事

欠席者 なし

傍聴者 なし

委嘱状交付

委員長・副委員長の選出

1 開 会

2 議 題

会議録署名人の選出について

会議録署名人に佐藤委員を指名（名簿順）

### 【報告事項】

(1) 鎌ヶ谷市指定文化財の指定について

事務局から資料に基づき指定の報告を行った。

### 【質疑等】

小川委員： 指定文化財に対するの報償費は、無形文化財が3万円、有形文化財は1万円と分かれている他は一律であるが、栗野は、他の地域よりも戸数が少ないため、将来に渡って一律の報償費ではなく、その文化財の状況によって考えていく必要があるのではないか。

事務局： 栗野の場合は、無形文化財3万円と有形文化財1万円の併せて4万円となり、5年ごとの石塔造塔の際には20万円となる。地元としては、喜んでもらっている。

下津谷委員長： 栗野庚申講が八坂神社に土地代を払っているのか。

事務局： 講と神社の氏子の構成メンバーが同じであるため、払っていない。

小川委員： 5年分の報償費合計20万円では、石塔は建てられないだろう。

事務局： 石塔を建てることはできない。

小川委員： 現在よりも戸数が減った時には報償費について考えないといけない。

下津谷委員長： 将来的に考えていくことでよろしいか。

佐藤委員： 栗野庚申講の看板の説明の中で、稀有な事例という言葉をわかりやすくした方がいいのでは。

小川委員： 「稀有」を「貴重」とすればいいだろう。

事務局： 貴重に変更する。

石神委員： 庚申塔の位置について、路傍だけだとわかりづらい。

事務局：栗野保育園の角に建っているのので、ランドマークとして栗野保育園を入れることとする。

(2) 平成24年度文化財保護主要事業について

事務局より資料に沿って報告

【質疑等】

小川委員：おしゃらく踊りについて以前にも話したが、伝承者の方が高齢で、しかも、軽井沢は市の中心地から離れている。発表の機会があまりない。中部小学校の発表会では、伝承者の方々も喜んでいて、発表する場を求めているので、何か活用してもらいたい。また、中部小学校の発表の際には、市の文化・スポーツ課文化係の職員にも見に来てもらったことを喜んでいて、報償費などのお金だけではなく、そのような配慮も続けて欲しい。また、そのような気持ちで文化行政を続けて欲しい。そのことに併せて、栗野について、指定になったばかりなので、広報活動をしていったほうがいいのではないかな。

事務局：栗野の広報活動については、定例記者会見に情報を提供する用意をしている。また、市の広報に掲載することになっている。

下津谷委員長：千葉県史跡整備市町村協議会、全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会はすべて出席しているということなので、今後は、会議内容の要約などを審議会の会議資料に入れて欲しい。

事務局：次回会議からは、資料も添付する。

(3) 平成25年度文化財保護主要事業について

事務局より資料に沿って報告した。

【質疑等】

下津谷委員長：発掘調査の報告については、詳細について審議会資料に入れておいて欲しい。

事務局：次回から資料に入れる。

下津谷委員長：緊急雇用の予算は、すべて国のお金か。

事務局：形としては県から出されている。

下津谷委員長：緊急雇用の金額は、決まっているのか。

事務局：実績額が歳入額となる。

(4) その他

①出前授業

②郷土資料館こども講座

③夏休み学習相談

事務局より資料に沿って報告した。

【質疑等】

下津谷委員長：まが玉づくりとアンギン編みの参加費はいくらか。

事務局： まが玉づくりは100円、アンギン編みは無料である。

下津谷委員長：他に報告等はあるか。

事務局：文化財の指定について、指定候補の文化財一覧を作成したいと考えている。教育委員会内部で意志決定を行った上、審議会の資料として提出させていただきたい。

各委員：文化財のリストアップはいいことである。

下津谷委員長：情報を共有できる。

小川委員：中長期の計画が立てやすくなるだろう。

## 5 閉会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成 25 年 5 月 31 日

署名人 佐藤 武雄